



# お客さまとともに

日本ユニシスグループは「顧客第一主義」を表す「U&U (Users & Unisys)」をスローガンに、お客さまのビジョン実現や課題解決に向けて、お客さまとともに歩んでいます。

## 教育機関において

「学びのネットワーク」を拡大・進化させる、統合教育ソリューション「RENANDI®」

# U&U

Users & Unisys

### 日本ユニシス OSSセンター／商品企画部 RENANDIチーム

RENANDI統合eラーニングシステムは、自己学習から教室での集合学習、グループ内やグループ間での協調演習、グループ実習などさまざまな学習スタイルをトータルサポートする学習支援プラットフォームです。時間や場所を選ばずインターネット経由で24時間アクセスできるほか、出欠管理や教材のダウンロード、成績管理といった機能を備え、講師と受講者の双方にとって利便性の高い学習環境を構築します。日本ユニシスグループでは、長年、産学官連携でソリューション開発を行ってきた成果と大学の授業での運用実績をもとに、システムの設計・開発から運用まで、さまざまな高等教育機関のニーズに即したサービスを提供しています。

教育機関のお客さまと接していると感じるのは、近年の高等教育においては、学生と先生、生徒と親、あるいは学習者同士など、さまざまな形態のコミュニケーションの活性化が求められ

ていること。私たちは、「TalentOriented®(人財重視)」、「Talent Sharing(人財共有)」というコンセプトを活動テーマに掲げ、今後は学校のみならず、地域社会や産学官連携の場へも「学びのネットワーク」を拡げていきたいと考えています。

#### お客さまの声 青山学院大学様

### 産学連携パートナーとして、 次世代型学習の仕組みづくりを支援

青山学院大学と日本ユニシスさんは、1998年以來の長年のパートナーとして、情報ネットワークを活用した新しい人材育成のあり方について一緒になって考え、共同研究を進めてきました。近年では、2005年4月に設立された、eラーニングの専門家を養成する「eLPCO(eラーニング人材育成研究センター)」での研究・開発や、文部科学省／経済産業省による研究プログラムなどを通じて、RENANDIを核に据えたコラボレーションを行っています。

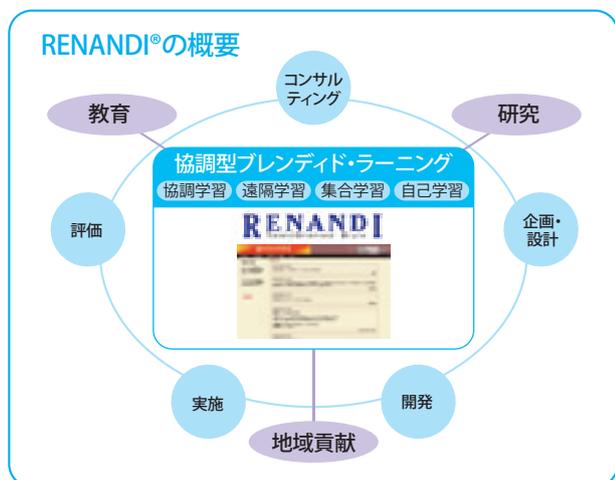


こうした活動を基盤として青山学院大学では、2007年4月に、ICTを活用した人材育成の拠点として、「HiRC(ヒューマン・イノベーション研究センター)」を設立しました。「学ぶ意欲の低下」が叫ばれて久しいなか、同センターでは教育機関と企業、地域社会が一体となった、組織学習による「学びの活性化」をめざしています。これからも日本ユニシスグループには、信頼の置けるITパートナーとしてだけでなく、このような人材づくりの新たなコミュニティにおける「コーディネーター」としての役割を期待しています。

#### お客さまの声 慶應義塾大学様

### 学習成果物の効率的管理により、 教育の質的向上を実現

慶應義塾大学理工学部では、2005年度より、RENANDIをベースとした「学習成果物統合管理システム(含:答案電子化サブシステム)」を導入しています。当学部機械工学科では2003年度に大学教育評価機関として実績のある「JABEE(日本技術者教育認定機構)」の審査を受け、技術者教育プログラムに関する認定を取得していますが、「RENANDI」の導入によって試験答案などの学習成果物を電子的に統合管理できるようになったことで、継



日本ユニシス OSSセンター／商品企画部 RENANDIチーム





青山学院大学 総合研究所  
eラーニング人材育成研究センター  
センター長  
玉木 欽也様

青山学院大学 社会連携機構  
ヒューマン・イノベーション研究センター  
所長  
佐伯 眸様



慶應義塾大学  
理工学部機械工学科  
教授  
志澤 一之様



甲南高等学校・中学校  
メディア情報部長  
社会科 教諭  
足立 恵英様

甲南高等学校・中学校  
メディア情報部  
数学科・情報科 教諭  
吉田 賢史様

続認定への申請作業がスムーズ  
になっただけではなく、学生の成  
果を効率的に評価し、学力の最低  
保証をすることが可能になりまし  
た。また、採点済み答案を電子的  
に返却することにより、学生は自らが学んできた内容や教員から  
受けた評価に対して、“透明感”と“信頼感”を持って社会に出て  
いってくれるものと思っています。一方、我々教える側において  
も、講義の内容や方法および学生への評価について従来以上に  
「説明責任」を求められるようになっておりますが、これは結果的  
にさらなる教育の質的向上につながるものと考えています。



近い将来、JABEEから各大学に対して、自己点検書の電子的  
提出が求められるような時代が来るものと予想しており、そうし  
た時にRENANDIのようなシステムが、認定に応募する大学を支  
援し、ひいては、社会に対して開かれた大学の体制づくりに寄与  
していってくれることを期待しています。

#### お客様の声 甲南高等学校・中学校様

### ポータブルオーディオプレーヤーを活用し、 フレキシブルな学習環境を提供

情報システムが高校・中学にも普及した今、本校では中高生の  
段階からICTを活用して学習していける能力の育成に取り組んで  
います。そうしたなか、生徒の学習状況ややる気に応じた自発的  
な学習を支援するための仕組みとして、RENANDIを活用した学習



管理システムを導入しています。な  
かでも、校外や自宅に“授業を持ち  
運びできる”「ポッドキャスト機能」  
では、ポータブルオーディオプレー  
ヤーに授業の動画や音声教材をダ  
ウンロードし、生徒が“いつでも、どこでも”自由に授業のポイント  
を視聴することが可能となりました。また、「提出物管理機能」に  
よって遅れの生じている生徒をチェックしたり、学習進捗状況を生  
徒ごとに把握することも可能となりました。電子メール配信機能と  
の併用により、将来的には生徒一人ひとりをきめ細かにフォロー  
するための環境づくりに取り組んでいきたいと思っています。

高校・中学としては全国で初めてRENANDIを導入したことも  
あって、日本ユニシスさんには要件定義の段階から、私たちの要  
望にじっくりと耳を傾けていただき、大変フットワークも軽く対応  
していただきました。今後も、さまざまな学校で培ってこられたノ  
ウハウを、本校とも共有していただければ、と考えています。